

あの人と
こんな話

毎日、潔く徹底的に
目の前のたった一人を救う



公益社団法人「日本駆け込み寺」代表

玄 秀盛さん

げん・ひでもり ●1956年大阪府生まれ。中学卒業後、様々な職を経験して多くの会社を経営するも、白血病ウイルス保菌者と知るや生き方を一変。2002年NPO法人「新宿歌舞伎町駆け込み寺(旧称・日本ソーシャル・マイノリティ協会)」を開設し代表に。過激な半生から身についた“人を見抜く力”で難問を解決。今年11月に団体名を公益社団法人「日本駆け込み寺」へ。宮城県仙台市に支部「国分町駆け込み寺」も持つ。最新本は元東京地検特捜部検事・堀田力氏との対談本「エリート×アウトロー世直し対談」。

日

本一の歓楽街といわれ
る新宿・歌舞伎町で、
家庭内暴力やストーカー、多
重債務、引きこもりなどのよ
ろず相談に応じて早10年。

「当初は被害者を助けるこ
とだけにながむしゃらになっ
た。けど、それだけではあかん。
うちは相談を受けると、相手
側も来させる。両方の話を聞
くうちに、加害者のことを野
放しにしたままでは、世の中
は変わらんのやと分かった」

例えば刑務所からの出所者
は、更生して頑張ろうとして
も、前科者と分かると働けな
くなることも多い。「得意先
でカッとなったら困るとか
うてな。これではよくならん。
ヤクザから足抜けしたくても
引き戻しをかってきたり。だ
から俺を使えっていうねん。
玄さんに全て保証してもらっ
てるから行けないと。悪縁は
バツサリ断ち切ること」
「被害者も加害者も命はひ
とつや」という。どっちの
肩を持つのでもない。誰もが
手をつけないことに、徹底的
に取り組んでいるのだ。

玄さんは在日韓国人として
生まれ、4人の父、4人の母
の元を転々とさせられて、辛
苦の子供時代を過ごした。学
校になじめず非行を重ねるも
早く働いて自立したいと、中
学卒業後、約30の仕事を経験。
億単位で稼いだ、金が全ての
自称守銭奴は、44歳の時、自
身が白血病ウイルス保菌者と
知り、人生観が百八十度変わ
る。発症率の低い病だが、そ
の時は余命幾ばくもないと思
い込んだ。

「1年限定のつもりで駆け
込み寺を始めた。ところが気
がついたら10年や」(笑)

すでに約2万の相談をこな
し、今や相談員も育ちつつあ
る。全国に連絡所を3千カ所
作るうと動き始めた。

「悩みを抱える人の相談受
付窓口です。相談者は連絡所
のパソコンを通して相談員と
面談できる。スローガンは「目
の前のたった一人を救う」。
拠点の数だけ、より多くの悩
み事を解決できます」

「破格のバイタリティーは、
とてまいるところを知らない。」